

Tsuyama College		Year	2021		Course Title	ICT Systems	
Course Information							
Course Code		0086		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2	
Department		Department of Integrated Science and Technology Electrical and Electronic Systems Program		Student Grade		4th	
Term		Year-round		Classes per Week		1	
Textbook and/or Teaching Materials		教科書：ノート講義					
Instructor		OKADA Tadashi					
Course Objectives							
学習目的：社会で使われている ICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を調査することで、ICTシステムの基礎知識を修得し新しい活用方法の基盤を作る。							
到達目標： 1.社会で使われているICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を理解できる。 2.ICTシステムの新たな活用方法に必要なことを理解できる。							
Rubric							
	優		良		可		不可
評価項目1	社会で使われている2つ以上のICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を説明できる。		社会で使われている調査したICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を説明できる。		社会で使われているICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を最低限説明できる。		社会で使われているICTシステムの目的・機能・仕組み（技術を含む）・影響等を説明できない。
評価項目2	ICTシステムの新たな活用方法に必要なことを、全般にわたって説明できる。		ICTシステムの新たな活用方法に必要なことを、基本事項について説明できる。		ICTシステムの新たな活用方法に必要なことを最低限説明できる。		ICTシステムの新たな活用方法に必要なことを説明できない。
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	一般・専門の別：専門 学習の分野：情報システム・プログラミング・ネットワーク 基礎となる学問分野： 情報学／情報科学, 情報工学およびその関連分野／計算機システム関連, 情報ネットワーク関連 学習教育目標との関連： 本科目は総合理工学科学習教育目標「③基盤となる専門性の深化」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連： 本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化」である。 授業の概要： 進展の著しい情報通信技術(ICT)を使ったシステムについて、興味の持てるシステムをグループで調査し、これを他の受講者に説明してもらいながら授業を進める。これにより、情報通信ネットワーク基本技術や通信サービスの概要を理解し、ICTシステムの新たな活用方法に関する基盤を作る。						
Style	授業の方法： 時間割の都合上、前期2単位時間で実施する。グループ内で十分に議論し、わかりやすく説明する。説明にあたっては、具体的な事例とそれを支える技術をバランスよく取り上げること。 成績評価方法： 基本概念・用語を確認する2回の定期試験の平均点（40％）と相互評価を含む調査・発表の評価点（60％）の合計で評価する。再試験は原則行わない。ただし、定期試験の結果をもって単位認定を正当に結論できないと判断した場合にのみ再試験を行い、その結果によって学年末成績を修正することがありうる。						
Notice	履修上の注意：本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：事前に行う準備学習として、1～3年生で学習する情報通信システム関連の知識をよく復習して受講すること。 基礎科目：情報リテラシー（1年）、プログラミング基礎（2）、情報ネットワーク基礎（2）、コンピュータ概論（3）、情報システム開発（3）など 関連科目： 受講上のアドバイス：グループ全体の調査目的を共有し、各自が何を調べるかを明確にして調査を行うこと。調査内容をグループで検討し、わかりやすく解説すること。 授業開始前に行う出席確認に遅れた者は遅刻として扱う。遅刻は授業時間の1時限目の半分までとし、それを過ぎるとその時限を欠課とする。2時限目も同様に扱う。 連絡教員：曾利仁・総合理工学情報システム系						
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
履修選択							
Course Plan							
			Theme			Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st					
		2nd					
		3rd					
		4th					
		5th					
		6th					

2nd Semester	2nd Quarter	7th		
		8th		
		9th		
		10th		
		11th		
		12th		
		13th		
		14th		
		15th		
		16th		
	3rd Quarter	1st	ガイダンス（情報ネットワーク構成技術の解説を含む）、グループ分けと調査するICTシステムの話し合い	調査対象の設定と情報ネットワークの構成技術を説明できる。
		2nd	調査するICTシステムの決定	社会でどのようなICTシステムが使われているか説明できる。
		3rd	調査するICTシステムの目的と機能（１）	特定ICTシステムについて、その目的と機能を説明できる。
		4th	調査するICTシステムの目的と機能（２）	特定ICTシステムについて、その目的と機能を説明できる。
		5th	調査するICTシステムの仕組み（１）	特定ICTシステムについて、その仕組みを説明できる。
		6th	調査するICTシステムの仕組み（２）	特定ICTシステムについて、その仕組みを説明できる。
		7th	調査したICTシステムで使われている技術	ICTシステムで使われている技術を説明できる。
		8th	（中間試験）	
	4th Quarter	9th	中間試験の返却と答案解説と情報ネットワーク応用の解説	中間試験までの成果を確認する。また、情報ネットワークのアプリケーションの仕組みと利用を説明できる。
		10th	調査するICTシステムの影響と課題（１）	特定ICTシステムについて、その影響と課題を説明できる。
		11th	調査するICTシステムの影響と課題（２）	特定ICTシステムについて、その影響と課題を説明できる。
		12th	新たな活用方法の検討（１）	ICTシステムの新たな活用方法を提案できる。
		13th	新たな活用方法の検討（２）	ICTシステムの新たな活用方法を提案できる。
		14th	調査ICTシステムの評価とこれから必要とされるICTシステムの班ごとの発表	調査ICTシステムの評価と新たな活用方法を説明できる。
		15th	（期末試験）	
		16th	期末試験の返却と解答解説と情報ネットワーク応用技術についての解説	期末試験までの内容を理解しているかどうか確認する。また、情報ネットワーク応用に関する技術について説明できる。

Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	40	30	30	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	30	30	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0